

「てるてる」コンセプトムービー



「言語を超えて、宇宙で世界が
つながってほしい」というコンセプト
で高校生が作ってくれた
コンセプトムービーです。
ぜひ見てください！



きみの願いを宇宙に飛ばそう！

個人・企業からの協賛を募集します。
お名前、願いなどをメモリアルプレートに
心を込めて刻み、人工衛星に搭載します。
気になる方はお問い合わせください。

会社概要

名 称	有限会社 工房大倉
代 表	代表取締役社長 大倉正治
本 社	〒399-3303 長野県下伊那郡松川町元大島2904-5
連絡先 メール	TEL: 0265-36-6023 FAX: 0265-36-6037 masa@k-okura.jp

仕事は
最高の
遊び♪

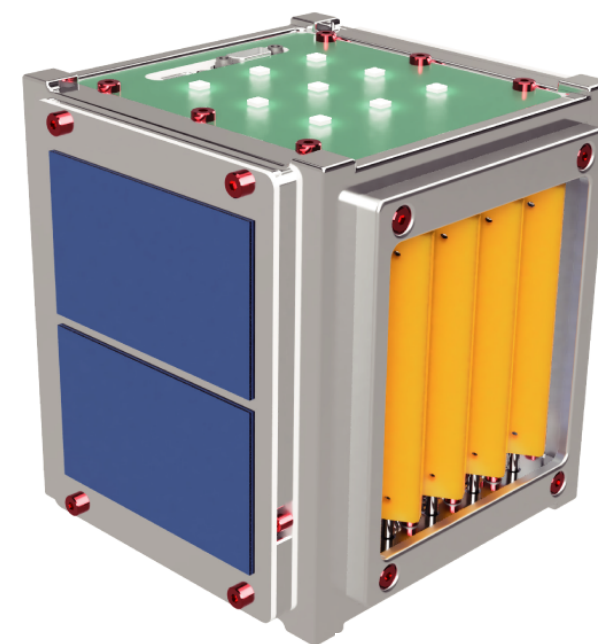


クラファン応援団1000人にしたい！

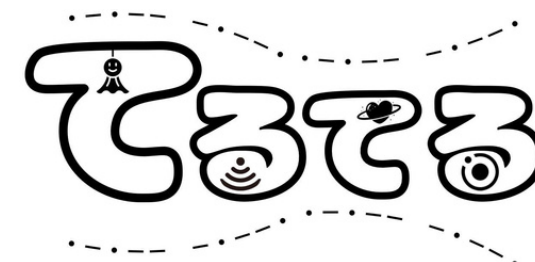
「てるてる」打ち上げを応援するオープンチャットができました。てるてる製作の最新情報が届きます。登録してね！



長野県の
工業高校と町工場が
宇宙へ夢を打ち上げる



超小型人工衛星



HMU-SAT2

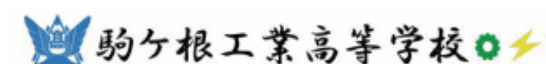
命名：中村 真奈さん
(15才/長野高校)

Launch from ISS



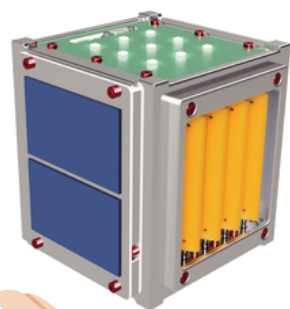
有限
会社

工房大倉



てるてる（HMU-SAT2）とは

手のひらサイズ



北海道科学大学、駒ヶ根工業高校、工房大倉が
共同開発する手のひらサイズの超小型人工衛星。

2025年打ち上げ予定のロケットで

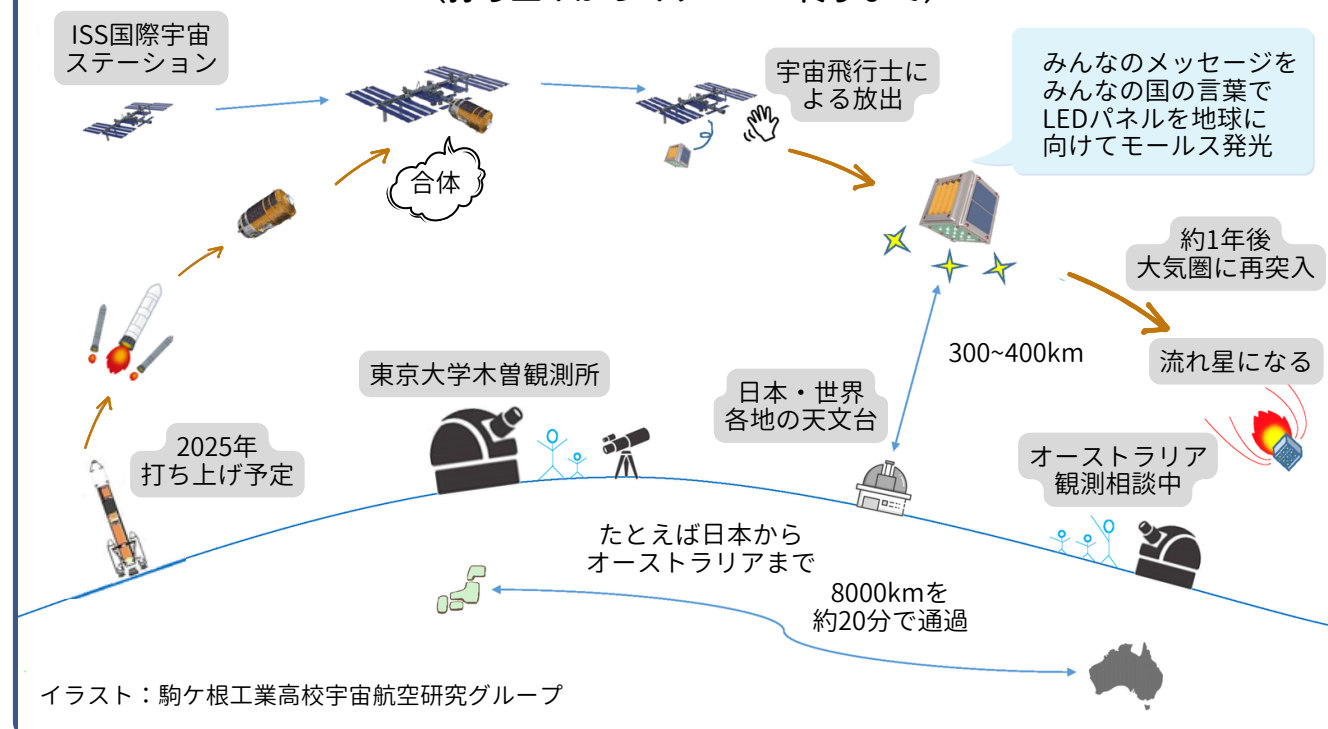
国際宇宙ステーション（ISS）まで届けられる。

地球を周回しながらLEDパネルを発光させ

地球に向けてメッセージを送信する。

メッセージは世界各地の天文台や観測所で観測予定。

HMU-SAT2のミッションイメージ （打ち上げからミッション終了まで）



一緒に宇宙へ行こう！

Let's go!

- 南信州のりんご畑に囲まれた小さな町工場ですが、
- 技術力と圧倒的品質には自信があります！
- 地元の高校生の宇宙研究を応援し続けて15年。
- 今では人工衛星を自分たちで作って宇宙へ飛ばすことも可能になりました。小さな人工衛星ですが、可能性は無限大！一緒に夢を打ち上げましょう！



「てるてる」計画のあゆみ

2009

駒ヶ根工業高校宇宙航空研究グループ設立時に、精密機械加工のアドバイザーとして工房大倉が就任

JAXA見学、金属樹脂部品加工指導など



2021

駒ヶ根工業高が「宇宙ゴミ回収」をテーマとした他大学の人工衛星プロジェクトに参加。工房大倉も引き続き技術指導を担当
このプロジェクトで北海道科学大学の宇宙開発チームと出会う



2022

工房大倉の技術力を買われ、北科大主導の人工衛星プロジェクト「HMU-SAT2」の共同開発へ

- ・ 駒ヶ根工業高校にて、宇宙からの信号を受信するワークショップ開催

2023

大倉正治が北科大の研究生となり本格的にプロジェクト参入

- ・ 駒ヶ根工業高、OIDE長姫高、松川小にて宇宙に関する講演会を開催
- ・ 北海道ビジネスEXPOで小型人工衛星のサンプルや自社製品を展示
- ・ 北海道赤平市の植松電機にて、駒高生たちとロケット作り体験学習
- ・ 北海道大樹町にて強風に強いバルーン開発実験を補佐

2024

工房大倉新社屋完成とともに、ますます技術力向上し、宇宙へ！

- ・ 3月～4月、人工衛星の愛称募集、
- ・ 5月、愛称「てるてる」決定
- ・ 10月世界同時ハミングデーコラボ出演
- ・ クラウドファンディングで協賛募集



人工衛星「てるてる」ものがたり

長野県の町工場、駒ヶ根工業高校宇宙航空研究グループの学生たちが
15年以上研究を引き継ぎながら完成にこぎつけた人工衛星が
2025年秋、打ち上がります！



てるてる
について

「てるてる」プロジェクト始動！

高校生+町工場の挑戦！

人工衛星へのチャレンジの始まりは、今から4年前。
国のプロジェクトとして認定された、他大学との共同研究のメンバーに、駒ヶ根工業高校・宇宙航空研究グループは、唯一の高校生として参加しました。



部員たちの人工衛星にける思いは熱く、ときには夜中の3時すぎまで、「先生、明日やる、はないです。今やらないと」と、探究を重ねてきました。

人工衛星の研究開発にかかる費用は、学生のお小遣い程度で賄えるようなものではありません。部員たちは自ら、薪割りをして費用を作り、それを研究費に充てることもありました。

自分たちで何とか形にしようと、挑戦し続ける姿に心を打たれ、工房大倉もまた、宇宙航空研究グループのメンバーとともに、この人工衛星プロジェクトに、情熱を注いできたのです。

国や研究機関に頼らず、自分たちの手で！

しかし残念ながら、プロジェクトへの参加が中止になってしまいました。
部員たちの悔しさは、とても書き切れるものではありません。
それでも、彼らは夢をあきらめませんでした。
「自分たちで、やりたい」
「人工衛星を、打ち上げたい」



ひとつのものを、皆で作りに上げてきた、宇宙航空研究グループの生徒たち。
そこには、いま現在活動しているメンバーだけでなく、歴代およそ80人の部員たちの想いも、ともに引き継がれているのです。
「よし。やろう。人工衛星を、必ず打ち上げよう！」

工房大倉と北海道科学大学がタッグを組み、技術も資金も彼らに全面協力する！と決めました。
もはや、やらない選択肢はありません。
（大倉）「誘いにのって、おもしろ半分で首を突っ込んだら、沼にハマって抜けられなくなった。おもしろくなっちゃったんです。」

学生の本気に、大人の本気が掛け合わさって、チャレンジが再始動した瞬間でした。

2025.02

2月：クラウドファンディング目標達成！

クラファン期間中、219名の方から
2,318,000円のご支援をいただきました。ありがとうございました！

東京大学木曽観測所にて



ついに
完成！



完成した
「てるてる」

2025.07

てるてるをJAXAに納品 (2025.7.23)

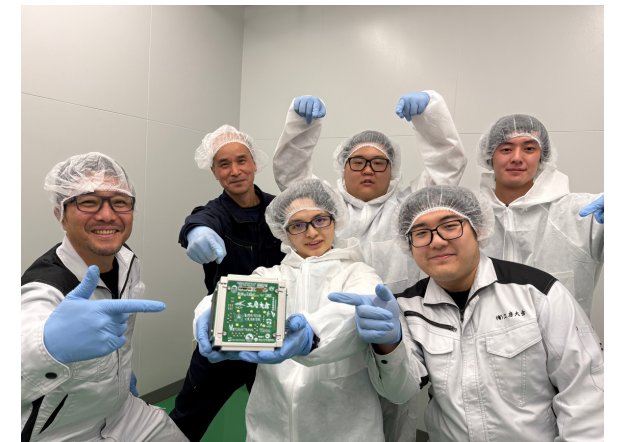
納品完了！



2025.03

東京大学木曽観測所を訪問し、
てるてる観測を依頼

人工衛星てるてる、完成！
長野県飯田市の「エスバード」にて、振動試験をクリア！



てるてる、ついに完成！

2025. 秋

てるてる打ち上げ予定！

打ち上げ場所は未定ですが
アメリカ、または種子島からの
打ち上げとなる予定！

